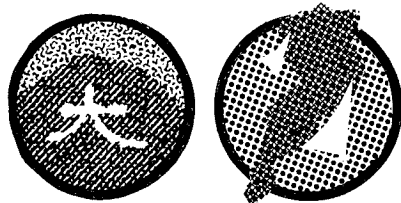


# 診断京都

(題字 橋口会長筆)



## 京滋見どころ



このパンプは (社) 中小企業診断協会京都支部が発行しております

### 大津祭

10月10日、天孫神社の祭。四宮祭しのみやとも呼ばれる。13基の曳山には彫りものや豪華なゴブラン織りなどがほどこしてあって、宿場で繁栄したころの昔がしのばれる。9日の宵宮には曳山を提灯で美しく飾り、夜遅くまで宵宮ばやしと共に見物客で賑う。10日の巡行中には、夷子の鯛釣り、鯉の滝上りなど、全国的にも最も古いからくり人形のその独特のメカニズムが見られ、人々の目を楽しませる。

(県無形民俗文化財、大津駅下車徒歩スグ)

## 目次

〈京滋見どころ〉	大津祭	.....	(1)
〈資料・情報〉	参考資料差し上げますノ	.....	(2)
	倒産危険度の判定モデル		
〈景況・業界動向〉	京都府内の企業経営天気図	.....	(3)
〈提言(ちょっと一言)〉	女性のマナーと着物	.....	(4)
	ローカル記事の見方		
〈調査・診断〉	昭和57年度京都市中小製造業の生産性と賃金	.....	(5)
	昭和57年度京都市中小商業の販売生産性と人件費	.....	(7)
〈一口メモ〉	億万長者	.....	(8)
	〈企業広告〉	.....	(11, 12)
〈企業経営〉	放漫経営	.....	(9)
	〈京都支部だより〉	.....	(12)
〈会員の頁〉		.....	(10)

☆社団法人中小企業診断協会京都支部は、中小企業診断士で作っている団体で、京都府と滋賀県の各分野で活躍している約100名が加入しています。

☆中小企業診断士とは、通商産業大臣の認定を受けて登録している、わが国唯一の公的資格を有する経営コンサルタントです。

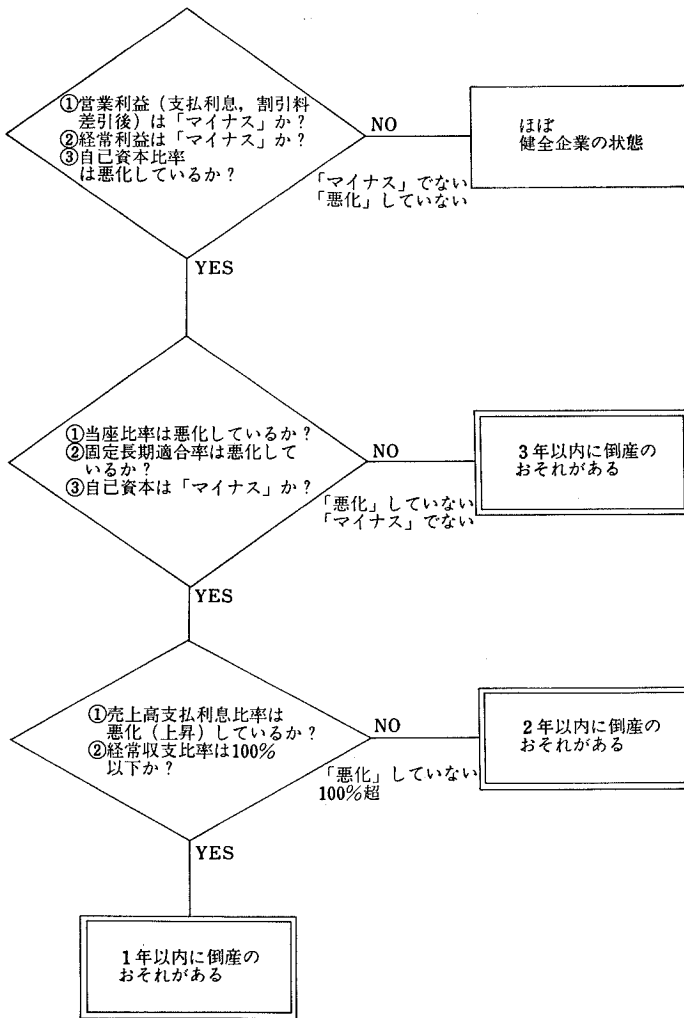
**資料・情報**

**参考資料差し上げます！**

京都商工会議所中小企業相談所では、経営に役立つ次のパンフレットを無料で交付している。

- ①昭和58年度 中小企業のための「金融制度の手引き」 B 5判27ページ
- ②「中小企業の就業規則」，慶弔金および見舞金規定，通勤災害も付いている。 A 5判25ページ
- ③昭和58年度「経営安定のミニガイド」倒産防止の解説パンフレット B 5版30ページ

**倒産危険度の判定モデル**



項 目	
経 常 取 入	売上高
	△受取手形(含割手・譲手)増加高
	△売掛金増加高
	前受金増加高
	営業外収益
	前受収益増加高
合 計 (A)	
経 常 支 出	売上原価
	△支払手形(含譲手)増加高
	△買掛金増加高
	△未払金・未払費用増加高
	棚卸資産増加高
	前渡金増加高
	販売費・一般管理費
	営業外費用
	前払費用増加高
	その他流動資産増加高
	△減価償却費
△貸倒引当金増加高	
△退職給付引当金増加高	
△その他負債性引当金増加高	
△その他流動負債増加高	
合 計 (B)	
経常取支 A - B = (C)	
経常取支比率 $\frac{C}{A} \times 100$	

資料) 長田寿夫「中小企業の倒産のメカニズム」(商工組合中央金庫発行の商工金融第33巻7号50ページ第4表、53ページ第6図) から引用

景況・業界動向

京都府内の企業経営天気図

業種	項目		業界景気				生産(売上)高				経常利益				資金繰り			
	時期	時期	58年		III		58年		III		58年		III		58年		III	
	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II
食料品	●	◎	●	◎	●	◎	●	◎	●	◎	●	◎	●	◎	●	◎	●	◎
繊維	●	●	●	●	◎	●	●	●	◎	●	●	●	●	◎	◎	◎	◎	◎
染色	●	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
繊維製品	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
化学・ゴム	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
窯業・土石	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
鉄鋼	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
非鉄	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
一般機械	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
電気機械	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
精密機械	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
木材・木製品	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
出版・印刷	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
その他	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
食料品卸	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
繊維卸	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
機械金属卸	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小売業	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
建設業	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
料理・飲食		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
旅館・ホテル		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
情報・事業サービス		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

58年 I ..... 58年 1~3月期 } 実績 III ..... 7~9月期 } 予想  
 II ..... 4~6月期 } VI ..... 10~12月期 }

B.S.I.	20.1以上	20.0~10.1	10.0~0.1	0	-0.1~-10.0	-10.1~-20.0	-20.1以上
記号	○	①	◎	⊗	●	●	●

B.S.I. (ビジネス・サーベイ・インデックス) =  $\frac{1}{2}$  (上昇・増加・楽一下降・減少・苦しい)

(資料) 第44回経営経済動向調査(昭和58年7月, 京都商工会議所)から作成。なお, サービス業の3業種については同調査を当編集担当において作図して追加した。

## 提言 (ちよっと一言)

### 女性のマナーと着物

近年女性の行動の変化は著しい。女性の変化した良い面として行動力が強まり、行動範囲が広まったことがある。半面、悪いところとしてマナーの低下が目立つ。

通勤途上の電車の中で見かける光景であるが、その1つは座席に腰をかけて足を組んでいる姿である。足を組むこと自体は悪いことではない。しかし、車内が混んで他の乗客がその足を避けて、窮屈な姿勢で吊り革で身体を支えていようと、全く関知しないといった態度である。それが不思議に若い女性に見られる。今1つは、大きな口を開けてあくびをすることである。それも思わず出たというのではなく、終るまで口を手で覆うという動作は全くしない。中には衆人環視の中、二度、三度と立て続けに大きな口を開く。全く自由奔放である。

これらを見かけて思うのは、これでは着物(和服)なんか売れる筈はない。このような現代女性が着物を着たら、足も組めないし、窮屈で窒息するのではないかと。しかし一方では、このような女性だからこそ、時には和服を着ておしとやかな女性になってみたい、と考えるのではないか。

どちらが本当なのだろうか。両方とも真実なのか。この辺を明らかにすることが、案外和服振興策の糸口になるのではなからうか。

### ローカル記事の見方

ローカル紙やローカル放送では、全国紙や全国放送では取り上げられない地元の小さな出来事でも報道されるから、地元の人々にとっては誠に重宝である。それは、いわば地元重視の報道の仕方がなされているわけである。だが、全国紙のローカル版を含めてこの地元重視は、すべてが地元主人公となり、地元が強調されるから、そのことを正しく理解して読む、あるいは視聴しないと地元オンチになる。

今年も夏の全国高校野球選手権大会が近づいたが、昨年までの例では、試合前の報道の見出しだけ見たのでは、地元の高校が絶対勝つような錯覚にとられるのである。これに監督など関係者の話が加わると、京都は全国から観光客が集まるから京都は誰れ一人知らないものはないその京都こそわ、といった一種の虚像にとられるのか、郷土愛に燃えるのか、低迷する京都高校球界の重荷をはね返そうとするのか、京都のもつ排他性か、はたまた、選手を鼓舞するためか、対戦校のエースを呼び捨てにしてまで、自己の弱みを見せまいとする。これをまともと言うか、うっかりと言おうか、そのように読もうものなら、京都は絶対優勝する筈になるのである。このことは、経済や産業問題などについても当てはまると言えよう。

全国ベースでは取り上げられない地元の小さな出来事も、できるだけ多く報道されることは好ましい。同時にその報道の仕方は、地域主観的でなく、客観的な尺度で行われ、読者や視聴者が正しく判断できるようになることが望ましい。それでは地元民にとって面白くもなくなるのだろうか。

## 昭和57年度 京都市中小製造業の生産性と賃金

1. 従業者1人当たりの年間加工高（「生産性」）は、対前年度比3.8%増加して6,315千円となった。  
なお、①従業者1人当たりの年間売上高は13,892千円、②付加価値率45.5%であった。
2. 従業者1人当たりの年間人件費（「賃金」）は、対前年度比7.3%増加して3,560千円となった。  
なお、人件費に占める福利厚生費の割合は10.1%となっている。
3. 加工高対人件費比率（「労働分配率」）は56.4%である。生産性の伸び率を上回る賃金の上昇率となったせいで、労働分配率は前年度比3.5%増大した。
4. 生産性の上昇の要因は、従業者1人当たりの機械装備額（労働装備率）と付加価値率が前年度比それぞれ10.0%、1.8%増大したことによる。半面、機械装備稼働率は低下し、マイナス要因となった。
5. 賃金の上昇の要因は、生産性の上昇に加えて、労働分配率が増大したことによる。
6. 生産性と賃金との相関係数は0.64で、高生産性高賃金が原則となっている。
7. 業種別の内容は表1のとおりである。

## 昭和57年度 京都市中小商業の販売生産性と人件費

### 卸売業

1. 従業者1人当たりの年間売上総利益（「販売生産性」）は、6,551千円で対前年度比1.5%減少した。なお、従業者1人当たりの売上高は44,566千円で対前年度比0.2%増加したが、売上総利益率は14.7%で1.3%低下した。
2. 従業者1人当たりの年間人件費は、3,426千円で対前年度比1.2%増加した。なお、人件費に占める福利厚生費の割合は9.1%である。
3. 売上総利益対人件費比率（「労働分配率」）は、52.3%で対前年度比2.8%増大した。
4. 業種別の内容は表2のとおりである。

### 小売業

1. 従業者1人当たりの年間売上総利益（「販売生産性」）は、5,151千円で、対前年度比3.8%増加した。なお、従業者1人当たりの年間売上高は17,582千円、売上総利益率は29.3%であった。
2. 従業者1人当たりの年間人件費は、2,777千円で対前年度比4.6%増加した。なお、人件費に占める福利厚生費の割合は7.4%である。
3. 売上総利益対人件費比率（「労働分配率」）は、53.9%で対前年度比0.7%増大した。
4. 業種別の内容は表3のとおりである。

表1 製造業

業 種 名	加 工 高 対 人 件 費 比 率		従業者1人当り 年 間 売 上 高		従業者1人当り 年 間 加 工 高		従業者1人当り 年 間 人 件 費		付 加 価 値 率	
	57年度	前年比	57年度	前年比	57年度	前年比	57年度	前年比	57年度	前年比
菓 子	53.6 <sup>%</sup>	106.3 <sup>%</sup>	12,838 <sup>千円</sup>	123.9 <sup>%</sup>	4,969 <sup>千円</sup>	110.2	2,665 <sup>千円</sup>	117.3 <sup>%</sup>	38.7 <sup>%</sup>	89.0 <sup>%</sup>
清 酒	44.0	136.6	22,932	105.2	8,641	—	3,798	112.2	37.7	78.2
製 パ ン	63.3	100.8	7,540	99.8	3,668	99.7	2,323	100.5	48.6	99.8
西 陣 着 尺	52.3	101.4	25,113	86.4	6,957	95.4	3,641	96.8	27.7	110.4
西 陣 帯 地	42.4	92.6	15,300	145.5	7,790	140.6	3,303	130.2	50.9	96.6
ネ ク タ イ	61.8	110.6	11,237	95.1	4,481	111.1	2,770	122.8	39.9	117.0
精 練	63.3	105.7	7,715	96.1	4,485	95.6	2,837	101.0	58.1	99.3
糸 染	56.6	111.0	7,682	95.3	5,099	94.2	2,884	104.6	66.4	99.0
機 械 捺 染	63.1	81.1	10,968	103.7	6,208	141.5	3,917	114.8	56.6	136.4
浸 染	48.8	101.2	12,625	97.5	8,277	111.7	4,041	113.2	65.6	114.7
友 禅	69.5	100.9	9,289	106.7	4,914	104.6	3,414	105.5	52.9	98.0
織 物 整 理	55.2	99.6	10,700	102.5	6,468	108.8	3,574	108.5	60.4	106.2
製 材	51.2	101.8	17,208	91.1	6,688	100.4	3,425	102.1	38.9	110.2
活 版 印 刷	72.1	100.6	8,833	114.5	5,357	111.1	3,864	111.7	60.3	96.9
平 版 印 刷	58.4	98.6	14,217	103.9	7,147	112.8	4,177	111.4	50.3	108.6
化 学	45.4	99.3	20,798	89.9	9,101	99.5	4,129	98.9	43.8	110.9
陶 磁 器	62.4	91.2	7,381	140.8	4,548	125.4	2,836	114.3	61.6	89.0
電 磁 器	69.3	101.5	7,177	94.8	4,344	96.4	3,012	97.8	60.5	101.7
銑 鉄 鑄 物	45.1	109.7	18,307	96.8	8,620	97.0	3,891	106.5	47.1	100.2
非 鉄 鑄 物	69.8	93.6	7,184	93.5	4,522	110.4	3,155	103.3	62.9	117.6
伸 銅	60.0	128.5	27,001	95.4	6,481	82.8	3,888	106.3	24.0	86.6
メ ッ キ	43.5	84.6	20,415	106.2	7,815	109.0	3,403	92.4	38.3	102.7
精 密 機 器	67.5	95.1	11,642	107.7	6,129	117.0	4,139	111.4	52.6	108.7
産 業 機 器	59.6	104.9	18,041	91.8	7,319	101.7	4,366	106.8	40.6	110.9
金 属 製 品	58.2	105.6	14,816	98.5	6,306	104.0	3,670	109.8	42.6	105.7
電 気 機 器	57.9	114.4	14,689	105.3	6,203	96.5	3,593	110.6	42.2	91.7
製 罐 板 金	68.2	111.8	13,672	113.6	6,950	118.1	4,740	132.0	50.8	103.9
金 型	63.6	97.0	8,654	79.8	6,667	116.5	4,243	113.0	77.0	145.8
合 成 樹 脂 成 型	50.7	88.2	18,855	148.0	6,995	121.2	3,546	106.8	37.1	81.9
平 均	56.4	103.5	13,892	102.0	6,315	103.8	3,560	107.3	45.5	101.8

表2 卸売業

業 種 名	従業者1人当り 売上総利益		従業者1人当り 売上 高		売上総利益率		売上総利益対 人件費比率		従業者1人当り 人 件 費	
	57年度	前年比	57年度	前年比	57年度	前年比	57年度	前年比	57年度	前年比
呉 服	千円 9,138	% 105.0	千円 61,674	% 105.1	% 14.8	% 98.7	% 40.9	% 100.0	千円 3,736	% 103.8
既 製 服	5,901	98.9	31,485	96.3	18.7	102.2	61.6	97.9	3,633	96.7
寝 具	9,612	103.4	75,843	98.5	12.7	105.0	37.8	92.0	3,633	95.2
酒 類	6,180	99.2	75,076	107.6	8.2	92.1	56.1	107.5	3,470	106.7
菓 子	3,930	97.8	26,206	102.0	15.0	96.2	70.5	114.3	2,772	111.7
医 薬 品	4,565	89.1	46,156	117.3	9.9	55.0	62.9	105.0	2,871	93.6
金 物	5,831	98.5	30,140	104.8	19.3	93.7	58.7	108.7	3,423	107.0
紙・紙加工品	5,756	87.9	34,301	87.7	16.8	106.3	54.2	112.0	3,120	98.3
電 気 器 具	6,541	101.9	35,770	85.1	18.3	119.6	50.0	96.0	3,270	97.8
陶 磁 器 ・ ガ ラ ス 器	8,056	98.6	29,011	91.4	27.8	108.2	53.8	105.7	4,336	104.2
平 均	6,551	98.5	44,566	100.2	14.7	98.7	52.3	102.8	3,426	101.2

表3 小売業

呉 服	8,175	109.7	17,930	113.4	45.6	96.8	47.2	94.6	3,859	103.7
紳 士 服	5,058	105.2	13,232	97.0	38.2	108.5	48.4	92.9	2,449	116.4
婦人・子供服	5,301	115.9	15,081	118.2	35.2	98.3	46.2	100.4	2,451	116.5
洋 品 雑 貨	2,936	98.1	11,331	114.5	25.9	85.8	51.1	88.7	1,499	86.9
寝 具	4,663	103.0	12,243	104.6	38.1	98.4	52.9	106.2	2,468	109.5
食 料 品 (総 合)	5,157	101.1	27,876	85.3	18.5	118.6	51.4	108.4	2,651	109.7
酒 類	4,864	103.8	29,380	105.8	16.6	98.2	63.0	104.5	3,064	108.5
パン・菓子製造	5,111	116.1	8,167	109.0	62.6	106.6	57.4	107.9	2,936	125.4
鞆・袋物	6,695	106.7	17,208	102.9	38.9	103.7	52.4	107.6	3,505	114.7
医 薬 品	4,686	105.4	14,803	110.1	31.7	95.8	55.8	93.9	2,615	98.9
石 油 製 品	5,883	94.9	38,995	103.2	15.1	92.1	61.2	110.9	3,600	105.3
仏 具	6,984	101.8	18,557	108.0	37.6	94.2	35.2	80.4	2,456	81.6
家 具	4,893	86.4	14,979	87.1	32.7	99.4	59.1	117.7	2,890	101.7
金 物 ・ 荒 物	4,074	83.9	11,516	84.3	35.4	111.0	63.2	99.7	2,576	93.3
電 気 器 具	4,535	113.1	19,132	99.3	23.7	113.9	73.3	101.5	3,323	114.8
書 籍	3,504	105.2	14,513	103.1	24.1	101.7	61.4	108.1	2,152	113.7
文 房 具	4,669	108.6	14,288	100.9	32.7	107.6	60.4	100.0	2,818	108.6
ス ポ ー ツ 用 品	4,629	103.6	21,800	102.0	21.2	101.4	56.8	116.4	2,631	120.7
時 計 ・ メ ガ ネ	6,051	103.0	13,022	110.4	46.5	93.4	46.5	83.0	2,811	85.4
平 均	5,151	103.8	17,582	101.7	29.3	102.1	53.9	100.7	2,777	104.6

(備考) 「生産性と賃金」, 「販売生産性と人件費」はともに、京都市中小企業指導所において調査が実施され、当支部が委託を受けて分析ととりまとめを行った。本稿はその内容を編集担当で要約したものである。

## 一口メモ

## 億万長者は全国で3370人

上位100位までに京都府7人，滋賀県はなし

昭和57年分の確定申告で，1億円以上の所得のあったいわゆる億万長者は全国で3,370人である。

長者ナンバーワンは，最後の相場師といわれる大阪府の是川銀蔵氏で，その所得は28億9千万円，そして上位100位目は約4億1千万円となっている。

①上位100位の所得ランク別人数は次のとおり。

20億円台	3人
10 "	5 "
9 "	2 "
8 "	7 "
7 "	4 "
6 "	12 "
5 "	25 "
4 "	42 "

合計 100人

②47都道府県のうち，億万長者上位100位が所在するのは17都道府県である。第1位は東京都35人，2位大阪府10人，3位兵庫県と神奈川県各10人，京都府は5位で7人がその中に入っているが，滋賀県は100位までには皆無である。

億万長者ランキング全国分布表

	大 阪	兵 庫	静 岡	神 奈 川	東 京	新 潟	京 都	千 葉	愛 知	埼 玉	三 重	奈 良	北 海 道	宮 城	広 島	長 野	熊 本	合 計
1～10位	3	3	1	2	1													10
11～20 "		1		2	3	1	2	1										10
21～30 "	1	1			4		1	1	1	1								10
31～40 "	3	2			3						1	1						10
41～50 "				1	6		1					1	1					10
51～60 "		1	1		5		1							1	1			10
61～70 "	1				6				1	1					1			10
71～80 "	3	1		1	2		1	1				1						10
81～90 "	1			2	3				1	1						1	1	10
91～100 "	1	1		3	2		1	1							1			10
合計	13	10	3	10	35	1	7	4	3	3	1	2	2	1	3	1	1	100人

③京都府分の関係者は次のとおり。

15位	金村 勝男氏	貸金業	83,615万円
19位	佐川 清氏	佐川急便会長	76,363 "
25 "	荒木 長次氏	不動産貸付	65,558 "
43 "	長島己之助氏	帯製造	55,048 "
56 "	金村 勝弘氏	貸金業	50,544 "
77 "	中山 秀雄氏	サンクロレラ代表取締役	46,169 "
96 "	千 宗室氏	茶道家元	41,596 "



## 放 漫 経 営

滋賀県信用保証協会 奥村久一郎

私は中小企業者を対象とした金融業務を任務とした機関に勤務しております。日常、金融申込者の信用調査を担当しており数多くの中小企業者と接する機会があります。こうしたなかで特に感じるところを述べてみたいと思います。

中小企業とはご承知のとおり、中小企業基本法に規定されておりますが、その範囲・領域は極めて広く、ありとあらゆる業態の企業があります。私が接する企業の大部分は人的な要素、事業の素質、財務内容について大きな問題を抱えたり特に改善に急を要するというものはありません。しかしながら稀にはありますがいくつかの企業において、何らかの問題や正すべき短所を見受けることがあり、僅少な数の企業者故に記憶に留めることとなり、印象に残ることになります。これら問題点のある具体的ケースを掲げてみますと次のようなものがあります。

### 1. 融通手形の存在

資金繰のために取引先等に安易に手形を借り受けて金融機関にて割引して、資金化して融通を図る。かなりの額を長期間にわたり操作を行なっている。

一方取引先等の依頼により自己手形を貸し渡し、返済をうけられない。

### 2. 高金利金融の利用

当初は気軽に小額の金融を受け、以後安易に借入し利息が雪ダルマ式に増加し、返済困難となり行詰りを生ずる。

### 3. 企業努力の欠如

賭博、酒色に夢中となり、企業経営を怠り、さらには事業経営に必要な資金までも流用する。

### 4. 本業外への投資

思いつきによる投資や道楽的な本業外への投資による資金の固定化のため、効率を悪くして経営を圧迫する。

### 5. ドンブリ勘定の経営

帳簿上だけでなく、実際上において経営実数を把握し、最終的にどれだけ儲けがあるか掌握しておく必要がある。十分な把握なく経営を行ない長期間経過後大きく喰込みの生じたことを発見し、資金ショートを生ずることになる。

以上これらはいずれも放漫経営といわれる事項を示すものです。私はこれらの問題のひとつでも抱える企業に接したり又経営者に会うことは数少ないが、感じるところでは財務諸表分析、仕入管理、販売管理あるいは経営者の経営手腕を云々する以前の企業者自身の姿勢や心構えのなさに起因するものであると考えます。

小規模事業者は生活に密着しており家計と未分離な面が多く、夫人がいかにうまく資金の状態を把握しているかどうかということも大きな要素であります。

経営者、特に中小企業者は善きにつけ悪きにつけ、頑固で周囲の助言に耳を傾けるということが少ないようであります。このため重大な問題を抱えている場合は尚更深刻です。

昔から「事業は人なり」と言われていますが経営者や従業員などの人的要素の優劣、経営組織の適否は外部環境の悪化に対し、有利・不利に働きます。中小企業、特に小規模企業にとっては経営者個人の経営に対する意識が問題でありこの意識が、あるいは経営に対する知恵がいかに経営に反映されているか、事業継続・発展の鍵とされます。

十分な推敲もせず感ずるままを述べてみましたが、諸先輩の先生方、実際に事業経営されている企業者の皆様に僅かばかりの参考となれば幸いです。

(当支部 理事)

# 暑中御見舞申し上げます

昭和 58 年 盛夏

中小企業診断士（社）中小企業診断協会京都支部有志

<p>荒尾 義晴 京都市下京区下魚棚通堀川西入 TEL 341-5331(代) 〒 600</p>	<p>黒川 倉市 京都市中京区丸太町通東洞院東入る 藤原ビル TEL 211-6010 〒 604</p>	<p>中谷 弥太郎 京都市下京区東洞院通五条上る TEL 351-8449・2140 〒 600</p>
<p>植田 光雄 京都市中京区姉小路通富小路西入 菊屋町 565-1 TEL 221-1218 〒 604</p>	<p>黒崎 徳之助 京都市上京区浄福寺通下立売下る 中務町490-19 TEL 801-0501(代) 〒 602</p>	<p>中野 善蔵 京都市上京区西日暮丸太町下る 四丁目 TEL 811-2750・8732 〒 602</p>
<p>大木 徹 京都市東山区問屋町通五条下る 3丁目 TEL 561-6171~4 〒 605</p>	<p>塩内 長俊 京都市北区大宮玄塚北東町1-7 TEL 492-7044 〒 603</p>	<p>西畑 好彦 京都市中京区西洞院通二条上る 薬師町652 TEL 231-5207 〒 604</p>
<p>大幡 義夫 京都市下京区黒門通五条下る TEL 351-2552・6860 〒 600</p>	<p>柴垣 秀雄 京都市北区上賀茂榊田町49 TEL 781-9596 〒 603</p>	<p>広瀬 来三 京都市中京区烏丸通二条下る ヒロセビル TEL 222-2051 〒 604</p>
<p>奥平 恒巳 京都市西京区大枝西新林町6-15-3 TEL 331-1204 〒 610-11</p>	<p>高木 健次 京都市北区大將軍西町80 TEL 463-8877 〒 603</p>	<p>堀村 清蔵 京都市下京区西洞院通七条上る TEL 361-4455(代) 〒 600</p>
<p>奥村 久一郎 滋賀県栗太郡栗東町上砥山1252 TEL (0775)58-1219 〒 520-30</p>	<p>たち 城 道雄 京都市右京区嵯峨朝日町2の16 幸栄ビル3階 TEL 881-2135 〒 616</p>	<p>村上 泰三 京都市上京区大宮通下立売上る家 永町769 TEL 841-6709 〒 602</p>
<p>片岡 憲男 京都市中京区丸太町通衣棚西入 玉植町222 TEL 256-1880(代) 〒 604</p>	<p>玉垣 勲 京都市西京区川島尻堀町31-6 TEL 391-5963 〒 615</p>	<p>山口 敏雄 京都市左京区吉田近衛町26の62 TEL 761-1514 〒 606</p>
<p>久保 文男 京都市中京区室町通夷川上る鏡屋町 36の2 TEL 231-0403 〒 604 222-0403</p>	<p>中窪 嘉邦 京都市右京区御室小松野町31の3 TEL 462-7497 〒 616</p>	<p>和田 忠儀 京都市下京区河原町通六条下る ワダビル TEL 351-7127 〒 600</p>

企業広告

選ばれたコーヒー豆  
力強い“看板”です



小川珈琲株式会社

京都市右京区西京極北庄境町20番地  
電話 (075) 313-7333 (代)

滋賀営業所 滋賀県野洲郡野洲町三上神守田498  
電話 (07758) 8-1147 (代)

京のアメ横・秋葉原



営業品目 時計・貴金属・喫煙具・万年筆・  
舶来雑貨・ゴルフ用品・電化製品

本店/二条通河原町西 ☎ 211-3408代

支店/百万辺電停東 ☎ 781-4608

支店/京都駅前近鉄百貨店内

グランマルシェ2F

歩、一步...

確かな明日をつくるため  
みなさまと、ともにある  
中信です—よろしく。



街にミドリ、暮らしにゆとりを



中央信用金庫

小松水産株式会社経営

鮎料理



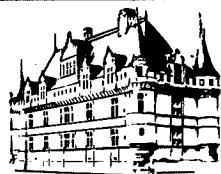
しょう

すい

滋賀県志賀町北小松 佃煮専門店近江松水  
(07759) 6-0251 東山区大和大路団栗下る  
事務所 (07759)6-0122 (075) 531-2877

RESTAURANT FRANÇAIS

Azay-  
le-Rideau



フランス ロワール地方  
アゼル・リドー城

本物の味だけがお届けする充実感を！

そしてキュージーヌ・モデルヌの粋を！

フランス料理

アゼル・リドー

シェフ 広瀬 陽

京都河原町三条上ル 京都ロイヤルホテル地階

☎ (075) 223-0009

■営業時間 ●午前11:30~午後 2:00(日曜日 正午~午後 2:30)  
●午後 5:30~午後10:00(ラストオーダー午後 9:00)

バー ●午後 5:30~午後10:00

■定休日 毎週火曜日

京都支部だより

行事・会議等

- 57. 12. 23 支部規約改正案作成及び意見書作成のため改正審議委員会を府立勤労会館で開催した。
- 58. 1. 1 「診断京都」第15巻第1号を発行し全会員並びに関係先へ配布した。
- 1. 8 京都公開経営指導協会より受託の「販売生産性と人件費」の調査を完了し報告書を提出した。
- 1. 21 本部で全国支部長会議が開催され黒川支部長が出席した。
- 2. 12 支部役員会を府立勤労会館で開催、全国支部長会議の内容、支部規約改正審議の経過、58年度登録更新研修会開催予定、中小企業診断士政治連盟の動向などについて報告した。
- 4. 18 本部理事会が開催され黒川支部長、黒崎副支部長が出席した。
- 4. 20 支部常任理事会を商工会議所で開催し、第24回通常総会の開催及び各議案作成並びに会員対象研修事業の実施案を検討した。
- 4. 20 山本副支部長が退会されたので京都ステーションホテルにて送別会を開き饗別を贈った。
- 5. 10 支部理事会を府立勤労会館で開催し、第24回通常総会の開催及び各議案を審議した。
- 5. 17 京都府診断指導調整推進会議が私学会館で開かれ黒崎副支部長が出席した。
- 5. 20 本部第28回通常総会が開催され黒川支部長及び黒崎副支部長が出席した。
- 5. 24 支部第24回通常総会を京都府中小企業会館で開催し、各議案共原案通り承認可決した（出席者委任状を含め50名）  
総会後懇親会を開き協会本部の近況、診断制度の発展策など活発な意見交換を行った。
- 5. 24 当日総会に先立ち支部会員研修として、オート・スライド「創造する管理者シリーズ全三巻」を上映し有益な研修を行った。
- 6. 10 京都府診断指導調整推進会議が開かれ黒川支部長が出席した。
- 6. 16~17 58年度第1回大阪通産局管内診断研究会が神戸国際会議場において開催され黒川支部長、奥平副支部長が出席した。
- 6. 18 支部事業部会を京都商工会議所で開催し「診断京都」夏季号発行及び58年度事業を協議した。
- 6. 21 昭和58年度京都地区登録更新研修の実施につき委員会を支部にて開き日程、科目と講師との折衝及び案内につき決定した。
- 6. 25 兵庫県支部主催で中小企業基本法施行20周年記念の式典が開催され黒川支部長が出席した。

会員の移動

加入	第一種	行待明夫	57. 12	山岡正勝	58. 1		
退会		中村与一	58. 2	山本淑郎	58. 3	大八木雅之	58. 5
	第二種	行待明夫	57. 12			大八木清蔵	58. 5

あとがき

会員の諸先生はもとより、企業経営者の方々にも読んで頂け、そして何かお役に立つ内容にしたいと考え、本号は編集委員の責任と負担においてその努力をしました。より充実した内容とするため、ご寄稿及び広告についても積極的なご的協力をお願い致します。(編集委員 奥平, 福知, 塩内, 奥村)

診断京都

No. 30

昭和58年8月1日発行

社団法人 中小企業診断協会 京都支部  
〒604 京都市中京区丸太町通東洞院東  
入藤原ビル TEL (075) 211-6010  
印刷所 真美印刷株式会社  
TEL (075) 821-2136(代)

ブライダル シーンを考える

嫁ぐ日凛として...

ご婚礼衣裳

たかみ

京都・五条通河原町西 ☎(075)351-7722